

## 研究活動

学芸研究会発表 (二〇〇一年一月～二月)

一月二四日

溝口 登 夫婦別宗(半旦家)について  
—半旦家を可能にした背景—

宮脇 正実 県立歴史館の体験的学習・学校との連携を考える

二月二八日

野澤 誠一 東日本弥生社会における銅釧・鉄釧のひろがり

樋口 和雄 信州幕府領陣屋の建造物とその内部構造

三月一四日

寺内貴美子 木製品保管の現状と課題

田村 栄作 第二次大戦後の長野県内にみる「かまどの改良」について

五月三〇日

白沢 勝彦 文化財修復の観点と保存の課題

田玉 徳明 明治期長野県における土木工事施策  
—土木技師デ・レーケの長野県踏査報告書より—

六月二七日

小野 和英 近世信濃と雛

七月三一日

梅原 康嗣 長野県における日米親善人形使節(青い目の人形)

伊藤 羊子 「文人墨客がつどう」—一九世紀北信濃の文芸ネットワーク—  
—展示構成とおもな展示資料—

八月三一日

宮脇 正実 中世小井三吉郷の館と開発

傳田 伊史 文化遺産の保存と活用について  
—長野県立歴史館の当面の課題を中心に—

九月二六日

祢津 宗伸 中世信濃の喫茶

—一四～一五世紀の喫茶とその背景—

樋口 和雄 勸進に歩いた江戸時代の宗教者たち  
—伊那郡上古田村の対応について—

一〇月三一日

徳永 英夫 満州開拓移民の経過と痕跡

—長野県立歴史館書庫の資料整理の中から—

市川 包雄 佐久郡野沢村並木家について  
—近世から近代へ—

十一月二八日

野澤 誠一 松原遺跡の人面付土器

田村 栄作 信濃国内の中山道宿駅景観の調査から  
—二〇〇二年度秋季企画展「中山道展」にむけて—

十二月二六日

堀内規矩雄 直弧文考

太田 典孝 幕府領陣屋許村中野の「町」と「村」呼称について